

I 学校教育目標と特色ある経営方針

1 学校教育目標

「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」



【めざす子ども像】

- ◇相手の気持ちが思いやれる子ども
- ◇対話し、学び、わかちあう子ども
- ◇みんなと支え合い、ともに働く子ども

◇相手の気持ちが思いやれる子ども【人間性の育成 心の成長】

○自分の気持ちを素直に伝えられる子

- ・ 日常の出来事や日々の生活に心を動かし、そのことを伝える子（作文、スピーチ）
- ・ 友だちの喜怒哀楽に共感でき、思いを素直にことばにできる子（スピーチ、交流）
- ・ 見守り隊や交通指導、あいさつ運動に参加する地域の方に明るくあいさつできる子（登下校）

○相手の立場になって考えることができる子

- ・ 一人ひとりの違い、自他の違いを大切にできる子（授業・集会等）
- ・ 誰もが同じ人間として大切にされ、尊重しようとする子（道徳・学活）
- ・ 人の悲しみや苦しみ、喜びや楽しみを想像しようとする子（国語・読書）
- ・ 自分がされていやなことを、言ったり、したりしない子（全教育活動）

◇対話し、学び、わかちあう子ども【主体的な学習者の育成 学習習慣の形成】

○学ぶ喜びを大切にできる子

- ・ いつも本を読む子（朝読書・図書館活用）
- ・ 人の話に最後まで耳を傾ける子（授業・集会）
- ・ 知ったこと、わかったことを生活に生かそうとする子（作文・スピーチ）
- ・ 校区（飯野・飯丘地区）を中心に、自然や文化、歴史、風土などを積極的に調べる子

○自分の考えを持てる子

- ・ まちがえをおそれない子（授業・集会）
- ・ よりよく工夫して考える子（授業・集会）
- ・ ちがった意見や考え、感じ方を大切にできる子（授業・集会）
- ・ 相手の意見や考えから自分の考えを深める子（授業・集会）

◇みんなと支え合い、ともに働く子ども【社会を生き抜く力 心身の健康習慣】

○進んで心身をきたえる子

- ・ 規則正しい生活習慣をおこなう子（家庭との連携）
- ・ つらい事、苦しい事を受け止め前向きになれる子（教育相談・作文）
- ・ ねばり強く、すぐにあきらめない子（黙動自問清掃、当番・係活動）
- ・ 体を動かして遊び、運動が好きな子（体育・休み時間）

○力を合わせ働くことができる子

- ・ 自分で考えて仕事をもとめ働く子（黙動自問清掃、当番・係活動）

2 基本方針

(1) すべての子どもと職員が声をかけ合えるあたたかな学校づくりに努める。

- 職員相互の分掌等を尊重しつつ、支え合い協働する職員（行事・集会等）。
- 常に授業を公開し、互いの実践に学び合う職員（校内研究）。
- 子どもの学習の姿を共有し、学年主任を通し、チームで指導改善を行う職員。

(2) 人や社会、自然との関わりを大切にし、体験や実感を学びに生かす。

- 子どもの生活に目を向け、具体的な経験を学びに生かす。（作文・スピーチ、授業）
- 具体的な経験の理由付けから、意見を導く学習。（根拠・理由・主張）

(3) 一人ひとりの進歩と成長を認め励まし、主体的な学習者の育成に努める。

- 子どもの学習成果を大切にし、他との比較でなくその子の成長や進歩を伝え、励ます。
（日常的な指導・懇談会等）
- 友だちの良さ、クラスの良さ、学校のよさが実感できる学習活動の充実。
（学級づくりの根幹に、相手の良さを評価する取り組み、場の設定。授業、学級通信等で発信）

(4) 子どもと教師、保護者・地域、みんなで地域の学校づくりに努める。

- 教師の支援のもと、子どもたちが学習活動を創り上げる。
（子どもの司会進行、運営による自主的な集会等の取り組み）
- 教育活動を地域に開き、積極的にサポートを依頼し、保護者・地域が学校教育に参画する意識の啓発。（学習サポーターの導入、学校だより、学年・学級通信、HPでの発信）
- 学校、家庭、地域社会が連携し、安全で安心できる環境づくり。
（飯野小学校 PTA 教育振興会 子どもを守る会 民生児童委員 育成会 見守り隊）

(5) 課題をチャンスと受け止め、明るく前向きに改善する学校運営に努める。

- 意見や相談、苦情などをていねいに受け止め、共に改善を図る協力関係、協働体制の構築
（学校評価、体罰調査、連絡帳、行事後のアンケート、担任→学年主任→生徒指導→教頭→校長の順に情報共有。組織的な対応の徹底）
- 全校体制で、当該児童、保護者等と関係のもてる信頼関係の構築。
（苦言等を丁寧に受け止め、改善に生かす姿勢の徹底）

